

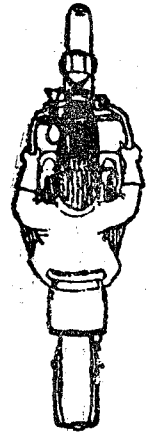
# 通信

## ◎東京だより 田中生

肅啓、初夏の候、これから傳染病の流行時期に入り申候、生存するの自由と權利を有する者は、個人衛生に意を用ひ、社會の構成員として、一層公衆衛生を重むることの必要なるは、茲に贅言を要せざる處に有之、御役所邊の注意獎勵を俟つまでもなく、各個人の自衛上よりして、衛生手段を講ずべきは當然に有之候、警視廳が各種の手段方法を以て、傳染病を媒介する蠅の退治を獎勵致候得共、馬耳東風のな市民の態度には惘れざるを得ざる次第に御座候、患者發生の曉に於て、やれ豫防だの、やれ注射なそと憐て候とも所謂後の祭に有之候にも拘はらず、尙之を打ち捨て置くことに鑑るときは生存を欲せざるものと觀るより外無之、命を捨て、の所業には何とも申様無之、バラツク生活より來る傳染病の多きこと

を想ふときは、吾人等生存權を擁護する者の痛心する處に御座候。

議會解散後に於ける、衆議院議員總選舉の結果如何は、閣當初より兎角の批評を受けたる清浦内閣の運命を支配するものに有之、開票の結果は多大の興味を以て待たれ、各政黨とも自派の多數なることを吹聴致居候處、遂に憲政會は百五十五名の多數を占め、勝算を期したる政友本黨が敗北致候は聊か氣の毒の感に不堪候、所謂護憲三派が協調する上に於ては政友本黨が如何に劃策するも議會に於て絶對多數を占むる能はざるは當初より判りきつたることに有之、唯た興味は兩黨の内何れが第一黨たるの地位を護得するや否やに在りしも今は四十一名の差を有することゝて如何とも致難きことゝ存候、現内閣は總選舉の終了に因つて政界安定し、組閣當初の目的を達したるの理由を以て、近々總辭職すべく傳へられ、



之が爲に第一黨たる憲政會が多年の宿望を達して、内閣を組織すへき様傳へられ、又或は所謂護憲三派に依つて組織せらるゝもの、様にも傳へられ政界は益多事と相成申候。

吾人は毎度主張致居候通り如何なる人、又は如何なる政黨に依つて内閣が組織せらるゝとも問ふ所に無之、其の内閣の採用する主義政策が、國民の現代生活に適合すれば満足する次第にして、何黨なるが故に反對し又は賛成するが如きは、現今の政黨が主義主張に依つて、眞に團結せられざる今日に於ては、畢竟感情論に終るべくして、吾人の採らざる處に御座候、本紙を通じての政治問題は慎むべきものとの注意も有之候に付、内閣組織の問題に付きては擱筆致候得共、茲に謂はざるべからざるものは、所謂新代議士の質如何の問題に御座候、今回當選者の年齢の年齢を調査したる閑人も有之、其の報告する所に依ると、平均五十歳三月の趣に有之候、古言に依つて人生五十年とすれば、既に三月前に他界し、又は他界すへかりし人々が、帝國の政治を議する勘定と相成何となく心細き感致候、第一回の總選舉に於て選出されたる代議士の平均年齢四十二歳より、漸次選舉の回数を重ねるに従つて、年嵩に相成居候由にて、時勢の逆轉したるが如き嫌有之候は、現代活動時代に在るへき三十、四十盛りのものが、國政を外

に遊意を貪り居るに非ざるかと被存候、或は歐米國に於ても、政治の局に當る者は何れも老境に入つた者なることを申候ものも有之候得共、他界し又はすへかりし程度の人々が集議して國政に參與するも、到底元氣潑潑たる政治の實現を觀るの譯も無之、惡例は外國に倣ふの必要も無之候に付、吾人は青年連の活躍を希望して己まざる次第に御座候、新代議士を以て組織すへき特別議會も來月二十五日より二十一日間招集せられ候に付、日比谷座は賑ふへきことと被存、其の光景を觀たる上は、更に短評を試ることに可致候

米國に於ける排日問題に付國論沸騰するのとき世界一週の途に在る米國飛行機我國を訪ひ、交通に國境なきことを語り申候、國際間交通の禮讓を守るへきは、文明諸國の義務にして、此禮讓を破るものは非文明國人と可申、國際法適用の範圍は、歐洲的にして耶蘇教的なることを主張し、東洋に國際法の適用なきことを力説したる彼マルテンスをして這次の排日問題を觀察せしめなば如何なる論斷を爲すならむと被存、歐米思想が既に頽廢して東洋に移りたるに非ざるやと被考候。何は兎も角彼米人の行爲は憎みても尙餘りある義に有之候得共、我は文明國人としての國際信義を重じ、地球の北端を迂廻して長途の天空を征服したる雄圖に對し、報復かましき

行爲に出するなく、衷心より歡待したるは、大國民の襟度を示したるものと可申、寧ろ彼排日を憎むより我の大なることに満足致候、

郡制廢止に伴ふ郡道の處分に就きては、客歲四月大體の結末を告げ、其の狀況は當時御報導申上置候處、當時認定の可否に付議論をした生るものは、一應其の處分を留保し、實地調査の上解決することに相成居候爲め、自來内務省土木局に於ては各地に吏員を派し、調査進捗中の處、漸く其の調査も終了したるを以て、近くその處分あるやに及聞候、之に依るときは認定の留保を爲したる府縣は、東京府始め外三十二府縣に及び、其の路線は四百三十七線に達したるも、其の多くは府縣道としての價値を疑はれたるものなるが故に、今回の處分に依つて認可されるものは、僅に百三十五路線此延長百七十三里に過ぎずして、地方民が期待したる程のことなかりしは當然に有之候、我國に於ける道路政策として、道路の外延的擴張を圖るを得策とすへきや、又は現代道路の實質的改良を期するを得策とすへきやは、大に攻究を要する問題に有之、多數の路線を府縣道と爲し、之か維持修繕すらも完全に行ふ能はず、一方道路の改良を廢止するが如きは策の得たるものに無之、地方財政の豊富ならざる我國に於ては、寧ろ

外延的擴張を見合せ、現代道路の實質的改良を以て適當と可申、前回又は今回の處分に依つて認定されたる府縣道は、遂に之を整理するの時期に遭遇するに至るべく、其の時こそが我國道路の實質的改善期に入りたるものと言ふべく候。小運送の問題が近時經濟界の重大問題として、世の注目を受くるに至りしことは、前號既に申上置候處、鐵道運送組合も亦此趨勢に鑑み、中央代議員會を開き道路交通物體の改善に關し政府に申請することに致候趣に有之、從來陸軍省に於て、下付しつゝある貨物自動車獎勵金は、軍用自動車用に供せらる一定規格のものに限らるゝも、昨年於ける震災の實況に徴するときは、規格以外のものも雖も相當の効果を呈したるが爲に此際其の範圍を擴張して、普通貨物自動車に對しても獎勵金を下附すること、馬匹改良の獎勵も、從來の如く乗用馬種に止めず、運搬用馬匹の改良に關しても相當獎勵の途を設け一般經濟發達に資せられたい、又小運送用に供すべき各種車輛は其の製造規準一定せず爲に其の利用不經濟に亘るを以て、此際各地方長官に一定の規準を示し全國を統一した規準を制定されたいと言ふ趣旨に有之候、是等は相當理由あることに御座候得共、日本の實業家連は常に政府の助成を求むるを以て能事とするもの、如く、自決の確きなきこと

は寔に響登すべきことに有之、貨物自動車、運搬用馬匹の獎勵、固より必要なるも、其の必要を感じたる以上は、何故に同業者相率いて其の改良に力を致さざるやと被考、政府も亦是等同業者の要求を容るゝを以て已むを得ずと爲す状態あるは帝國の歳出を膨大ならしむるの因と爲り餘り好ましきことに無之候吾人は獨り、鐵道小運送組合の決議に對してのみ責むる義には無之、一般實業家の空氣が常に政府に倚らむとするを難する次第に御坐候、後者の小運送用車輛の規格統一は適當の意見に有之、其の規格を統一して、非常時に又は平時に彼我相融通して使用するの道を設くるは必要なことに有之道路法の實施に方り道路取締令を制定する場合に於ても、同一の議論を生じ候得共、全國に存在する各種車輛の規格を統一するは、地方の事情に適合せざる恐あるを以て、詳細なる規格は地方長官をして規定せしむることゝ爲したる次第に候得共、理想よりするときは、建議の通にして吾人は一日も早

く統一せられむことを望む次第に御座候、併しながら鐵道省の小運送制度調査會と言ひ、此組合の決議と言ひ何れも車輛を改造して小運送能力の増進を期せむとするものなるも、車輛能力を支配すべき道路の改善に言及せざるは、何となく物足らざるやの感を起さしめ申候。

内務省に於ては本月二十六日より三日間土木主任官會議を開き、一般土木行政に關する指示又は諮問を爲す所有之、其の會議の内容に關してはRT生の報する所なるを以て、茲に詳説不致候得共、本會議が事務と技術とを併用したる事項を論議する迄に於て事務的會議と異り、世に所謂土木技術家の重視する處に有之候、本年は道路に關する重要技術に付諮問されたるに拘はらず、其の點に關し餘り論議せられたるを聞かざるは、本會議の特徴を感却したるの感有之、吾人をして主任官各位の健在を疑はしむる處に御座候

敬具

## 北海道廳主催軌道事務打合會より

内務技師 佐藤利恭

北海道廳主催の軌道事務打合會に出席の爲め四月二十六日午後十時青森行急行に投じたる吾等一行は内務屬祝井氏鐵道屬